

製品名: PML ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16306**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	98kDa

抗原情報

遺伝子名	PML
別名	PML; MYL; RNF71; TRIM19; Protein PML; Promyelocytic leukemia protein; RING finger protein 71; Tripartite motif-containing protein 19
遺伝子 ID	5371.0
SwissProt ID	P29590
免疫原	抗血清はヒト PML 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

背景

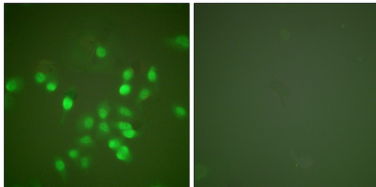
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TRIM（三者モチーフ）ファミリーのメンバーです。TRIMモチーフには、3つの亜

鉛結合ドメイン、RING、B ボックスタイプ 1、B ボックスタイプ 2、そしてコイルドコイル領域が含まれます。このリン酸化タンパク質は核小体に局在し、転写因子および腫瘍抑制因子として機能します。その発現は細胞周期と関連しており、発癌シグナルに対する p53 応答を制御します。この遺伝子は、急性前骨髄球性白血病 (APL) に関連するレチノイン酸受容体 α 遺伝子との転座に関与することがよくあります。この遺伝子は広範囲に選択的スプライシングを受け、タンパク質の中央領域と C 末端領域に複数の変異体が生じます。すべての変異体は同じ N 末端をコードしています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写産物変異体が同定されています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]、代替製品: 追加のアイソフォームが存在すると思われる、疾患: PML に関連する染色体異常は、急性前骨髄球性白血病 (APL) の原因である可能性がある。RARA との転座 t (15;17) (q21;q21) 。PML 切断点 (タイプ A およびタイプ B) は、選択的スプライシングを受けたエクソンの両側に位置する。機能: おそらく転写因子。PML 核小体への ELF4 のリクルートメントにおいて重要な役割を果たす可能性がある。、PTM: 核体形成には、3 つの部位すべてでの SUMO 化が必要である。Lys-160 の SUMO 化は、Lys-65 の SUMO 化の前提条件である。PML-RARA 融合タンパク質は SUMO 化されていない。、PTM: ユビキチン化; SIAH1 または SIAH2 によって媒介され、その後プロテアソームによる分解につながる。類似性: RING 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。類似性: B ボックス型ジンクフィンガーを 2 つ含む。細胞内局在: SUMO 化された形態は PML 核小体に局在する。B1 ボックスと RING フィンガーもこの核局在に必要である。核局在シグナルを持たないアイソフォームは細胞質に存在する。、サブユニット: SIRT1、TOPBP1、TRIM27、および TRIM69 と相互作用する。ELF4 の C 末端と相互作用する。ラッサ熱ウイルス Z タンパク質および狂犬病ウイルスリン酸化タンパク質と相互作用する。、

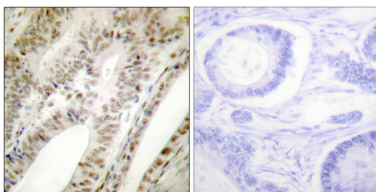
研究分野

ユビキチンを介したタンパク質分解、がんにおける経路、急性骨髄性白血病

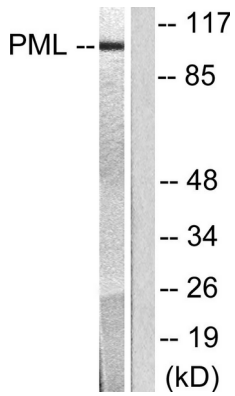
画像データ



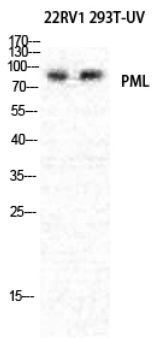
PML 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



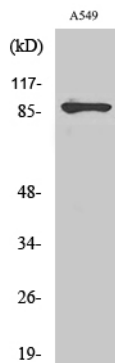
PML 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



PML抗体を用いたA549細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PMLポリクローナル抗体を1:1000に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



PMLポリクローナル抗体(1:1000希釈)を用いたA549細胞のウェスタンブロット解析